

2014年 6月期 第3四半期累計期間

決算 補足資料

目次

1. 第3四半期累計期間の業績について	3
2. セグメント別の状況	10
3. 2014年6月期見通し	16

【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

第3四半期累計期間の業績について

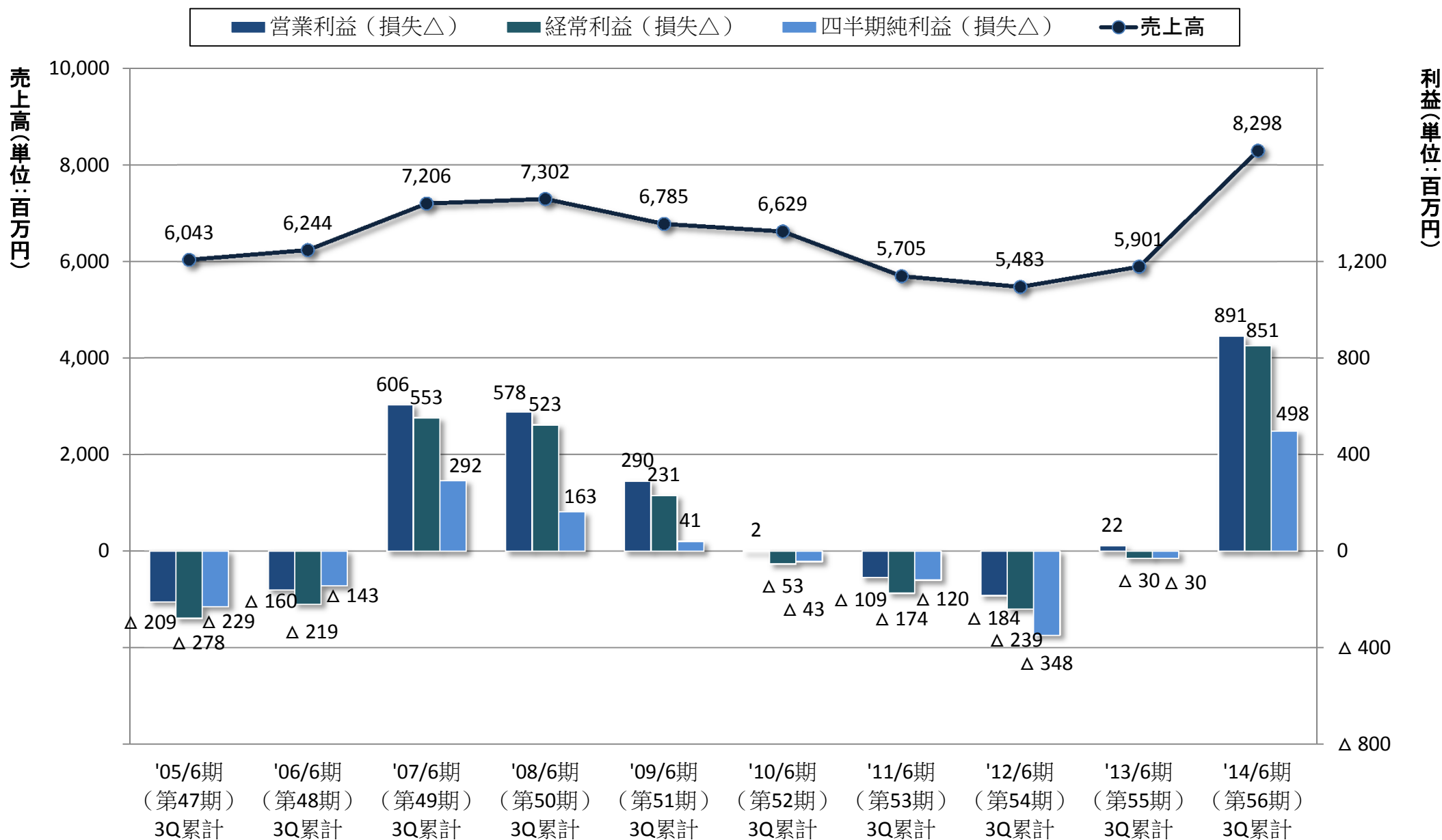


第3四半期累計期間 決算の概要

(単位:百万円)

	① '12/6期 (第54期) 3Q累計	② '13/6期 (第55期) 3Q累計	③ '14/6期 (第56期) 3Q累計	③-② 対前年同期 増減額 (増減率)
売上高	5,483	5,901	8,298	2,396 (40.6%)
営業利益 営業損失(△)	△184	22	891	869 (-)
経常利益 経常損失(△)	△239	△30	851	882 (-)
四半期純利益 四半期純損失(△)	△348	△30	498	529 (-)

第3四半期累計期間の業績推移



損益計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期) 3Q累計	'14/6期 (第56期) 3Q累計	対前年同期 増減額
売上高	5,901	8,298	2,396
売上原価	3,334	4,629	1,295
売上総利益	2,567	3,668	1,101
販売費及び一般管理費	2,544	2,776	232
営業利益	22	891	869
営業外損益	△53	△40	13
経常利益(損失△)	△30	851	882
特別損益	△0	△11	△11
税引前四半期純利益(損失△)	△30	839	870
法人税等	△0	340	340
四半期純利益(損失△)	△30	498	529

<売上高>

前年同期と比べ、全セグメントで売上高が増加し、82億98百万円となりました。

<売上総利益>

前年同期と比べ、売上高の増加に伴い売上総利益も増加し、36億68百万円となりました。

<販売費及び一般管理費>

業務の内製化により販売費及び一般管理費の適正化に努めております。

<営業利益>

前年同期と比べ、売上高の増加とともに、エンジニアリングコンサルティング、システムソリューションにおいて、営業利益率が改善したことにより、8億91百万円となりました。

<四半期純利益>

前年同期と比べ改善し、498百万円となりました。

貸借対照表ハイライト

(単位:百万円)

	'13/6期末	'14/6期3Q	増減額
流動資産合計	2,771	6,874	4,102
現金・預金	380	2,785	2,405
受取手形及び売掛金	1,257	2,682	1,425
仕掛品	431	560	129
固定資産合計	7,035	7,010	△ 25
有形固定資産	5,583	5,566	△ 16
無形固定資産	398	367	△ 31
資産合計	9,807	13,884	4,077

	'13/6期末	'14/6期3Q	増減額
負債合計	6,127	9,762	3,635
流動負債	4,127	7,872	3,745
短期借入金 [※]	1,900	4,485	2,585
未払費用	430	197	△ 232
固定負債	1,999	1,890	△ 109
長期借入金	609	385	△ 224
純資産合計	3,680	4,122	441
負債・純資産合計	9,807	13,884	4,077

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

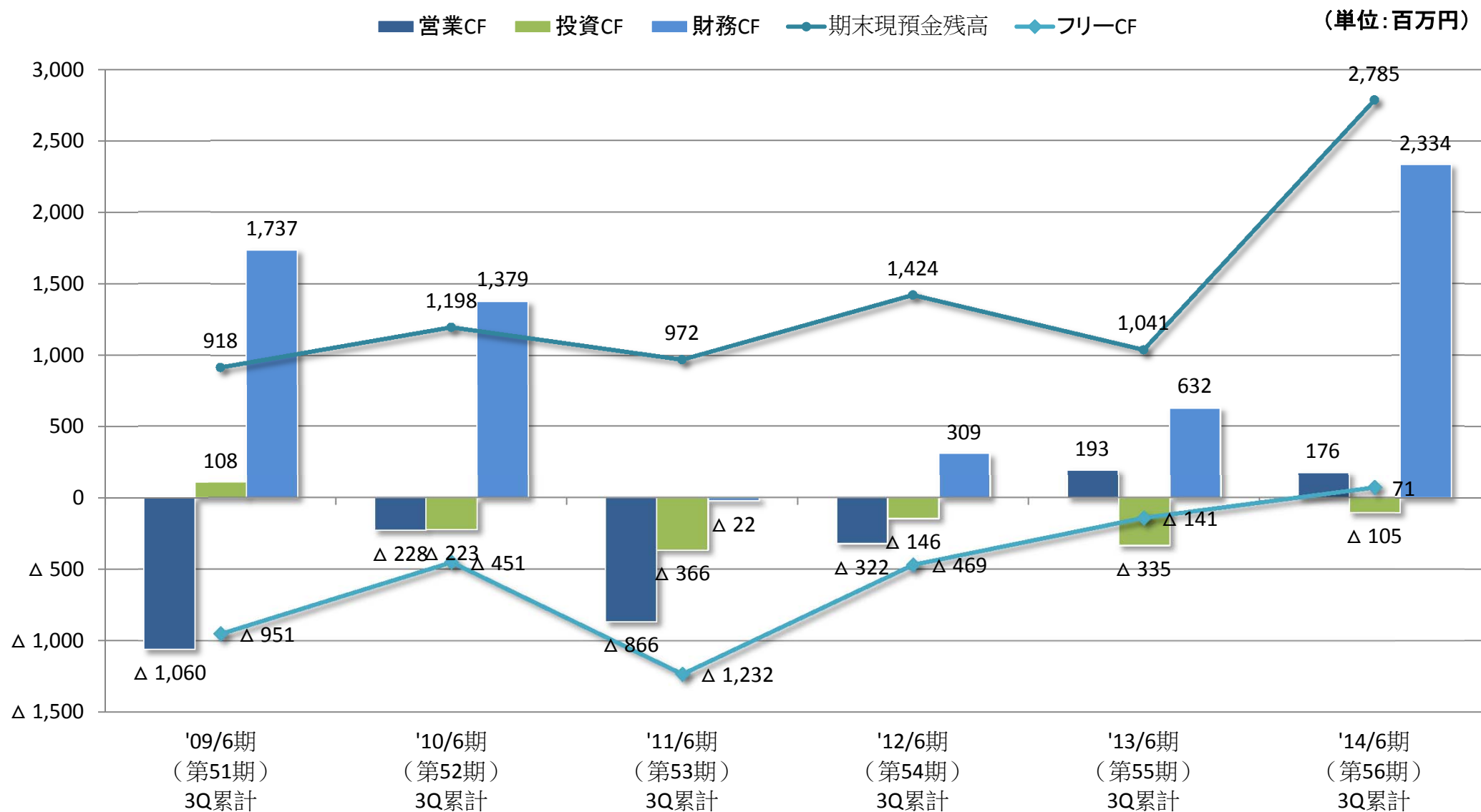
(参考) キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期) 3Q累計	'14/6期 (第56期) 3Q累計
期首現預金残高	551	380
営業活動CF	193	176
投資活動CF	△335	△105
フリー・キャッシュ・フロー	△141	71
財務活動CF	632	2,334
期末現預金残高	1,041	2,785

【主な内訳】	
営業CF(176百万円)	
・税引前四半期純利益	839百万円
・賞与引当金の増加額	739百万円
・売上債権の増加額(△)	△1,365百万円
・仕入債務の増加額	540百万円
投資CF(△105百万円)	
・有形固定資産の取得	△20百万円
・無形固定資産の取得	△67百万円
財務CF(2,334百万円)	
・短期借入金の純増	2,990百万円
・長期借入金の純減	△629百万円

(参考) 過去5年間のキャッシュ・フローの状況



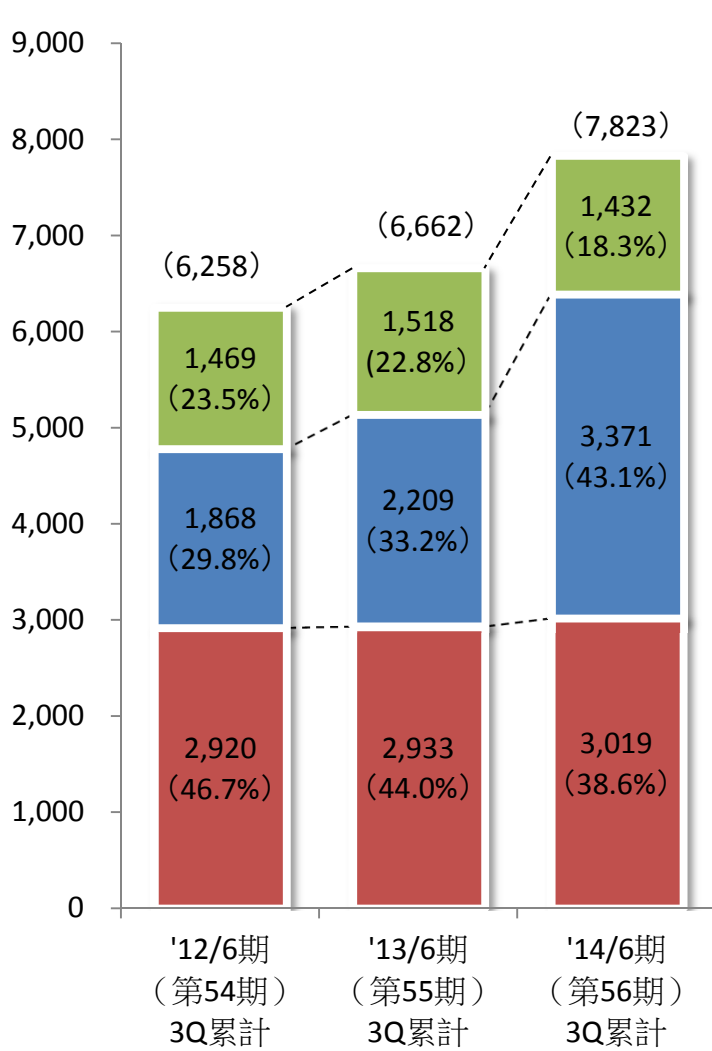
2

セグメント別の状況

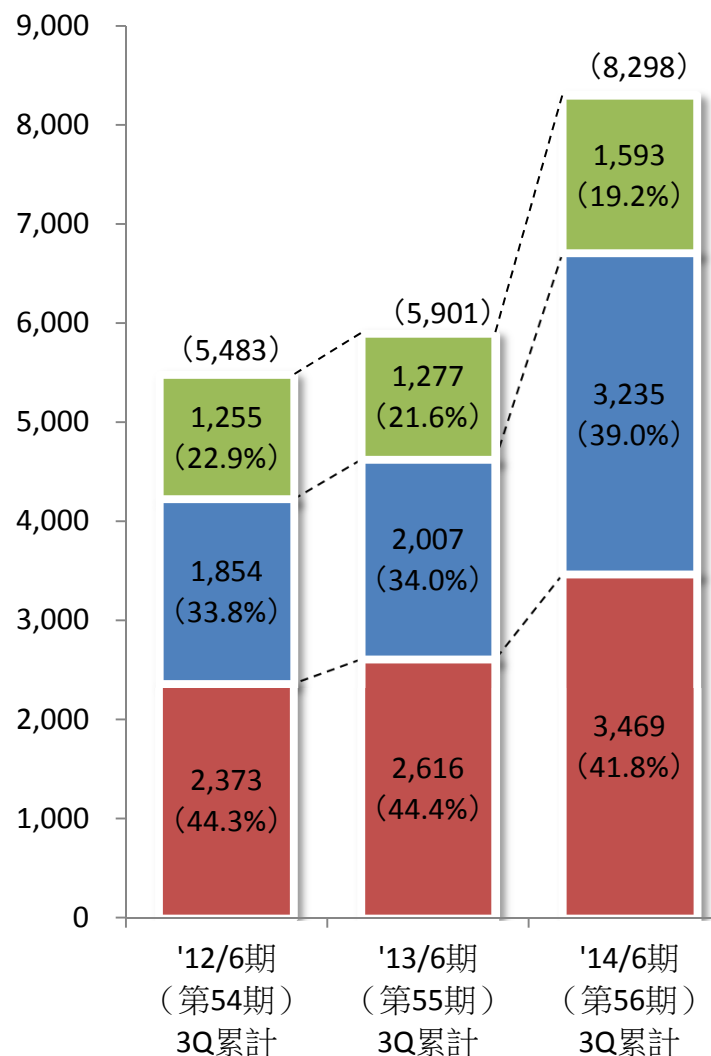


セグメント別受注高・売上高・受注残高の状況

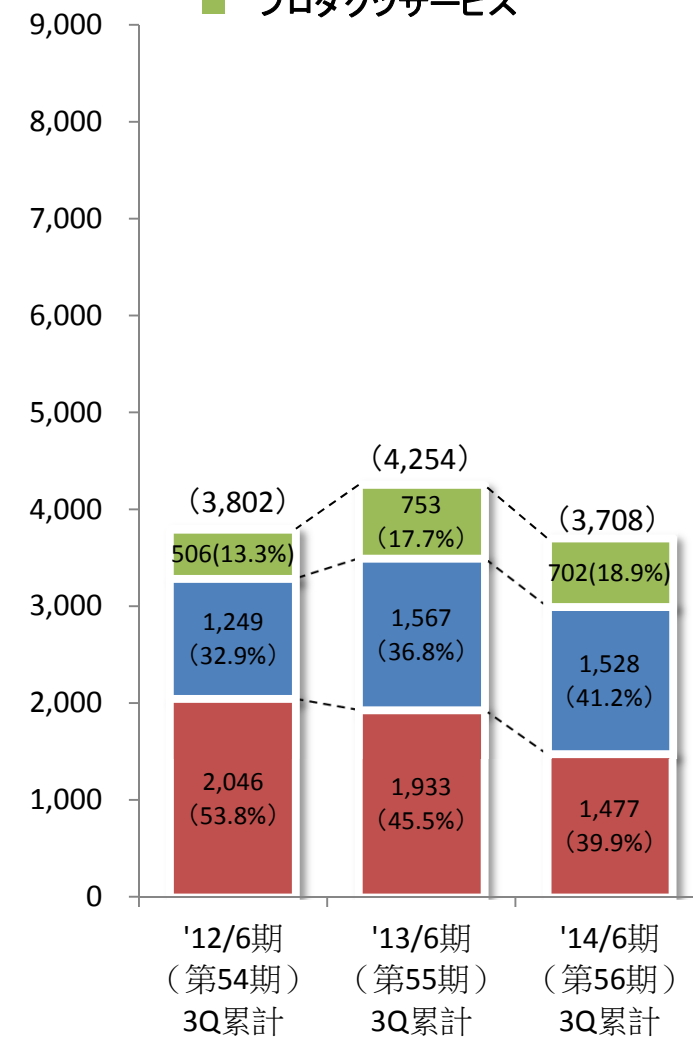
- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス



受注高(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)

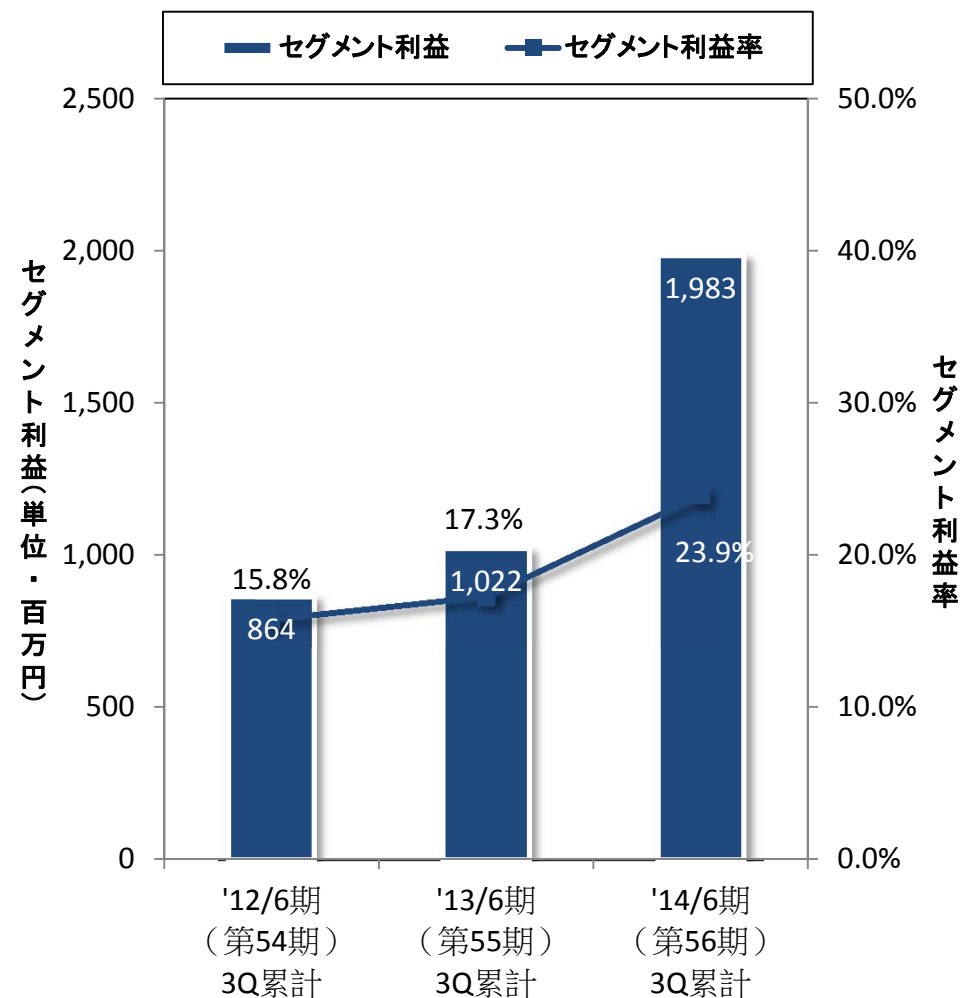


受注残高(単位:百万円)

3 セグメント合計

(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 3Q累計	'13/6期 (第55期) 3Q累計	'14/6期 (第56期) 3Q累計	対前年同期 増減率
受注高	6,258	6,662	7,823	17.4%
売上高	5,483	5,901	8,298	40.6%
セグメント 利益 (利益率)	864 (15.8%)	1,022 (17.3%)	1,983 (23.9%)	94.0%
受注残高	3,802	4,254	3,708	△12.8%



①エンジニアリングコンサルティング

(単位:百万円)

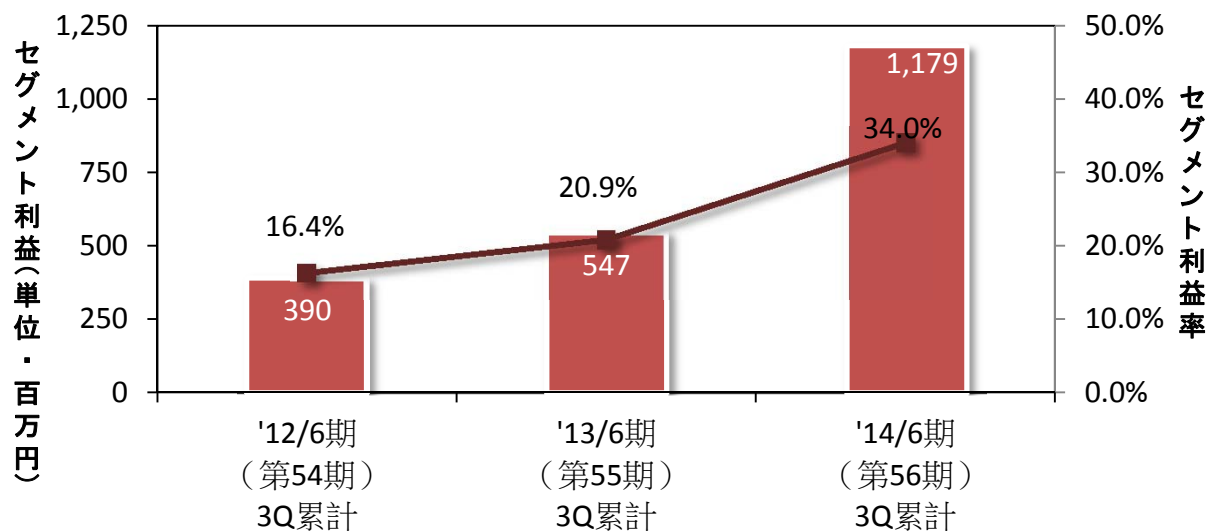
	'12/6期 (第54期) 3Q累計	'13/6期 (第55期) 3Q累計	'14/6期 (第56期) 3Q累計	対前年 同期 増減率
受注高	2,920	2,933	3,019	2.9%
売上高	2,373	2,616	3,469	32.6%
セグメント利益 (利益率)	390 (16.4%)	547 (20.9%)	1,179 (34.0%)	115.5%
受注残高	2,046	1,933	1,477	△23.6%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

業績分析

- 安全・安心ソリューション業務が好調
- 防災・耐震関連の解析コンサルティング業務が好調
- 合意形成支援コンサルティング業務が好調

■ セグメント利益 ■ セグメント利益率



② システムソリューション

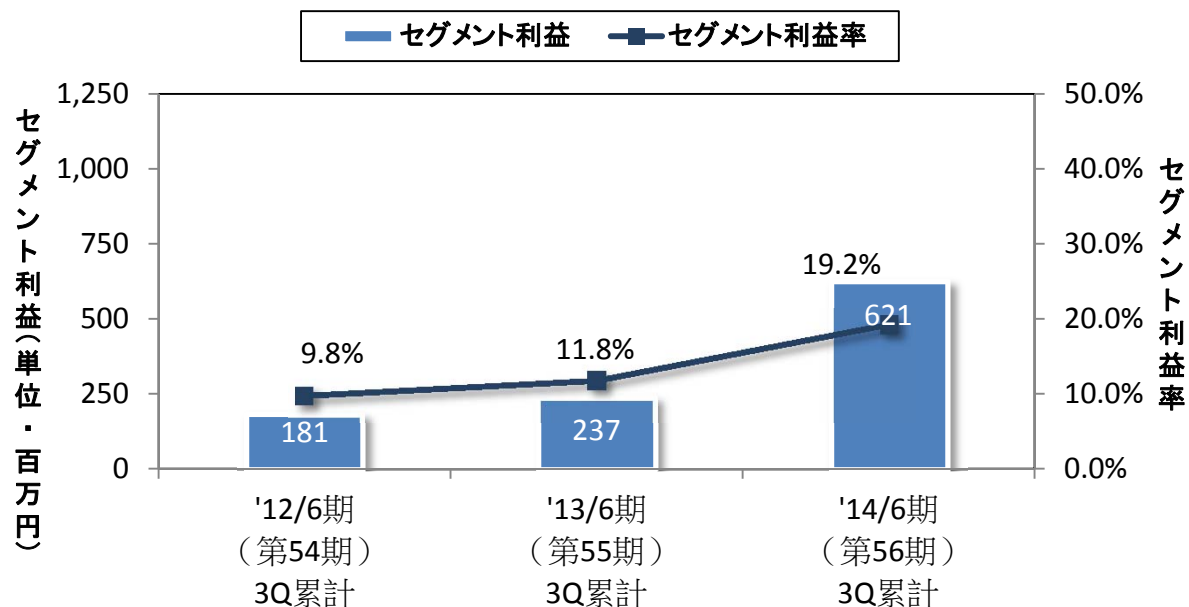
(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 3Q累計	'13/6期 (第55期) 3Q累計	'14/6期 (第56期) 3Q累計	対前年 同期 増減率
受注高	1,868	2,209	3,371	52.6%
売上高	1,854	2,007	3,235	61.2%
セグメント利益 (利益率)	181 (9.8%)	237 (11.8%)	621 (19.2%)	161.5%
受注残高	1,249	1,567	1,528	△2.5%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム

業績分析

- 大手住宅メーカー向けのシステム開発業務が好調
- 大手建材メーカー向けのシステム開発業務が好調
- 大手通信キャリア向けのシステム開発業務が好調



③ プロダクツサービス

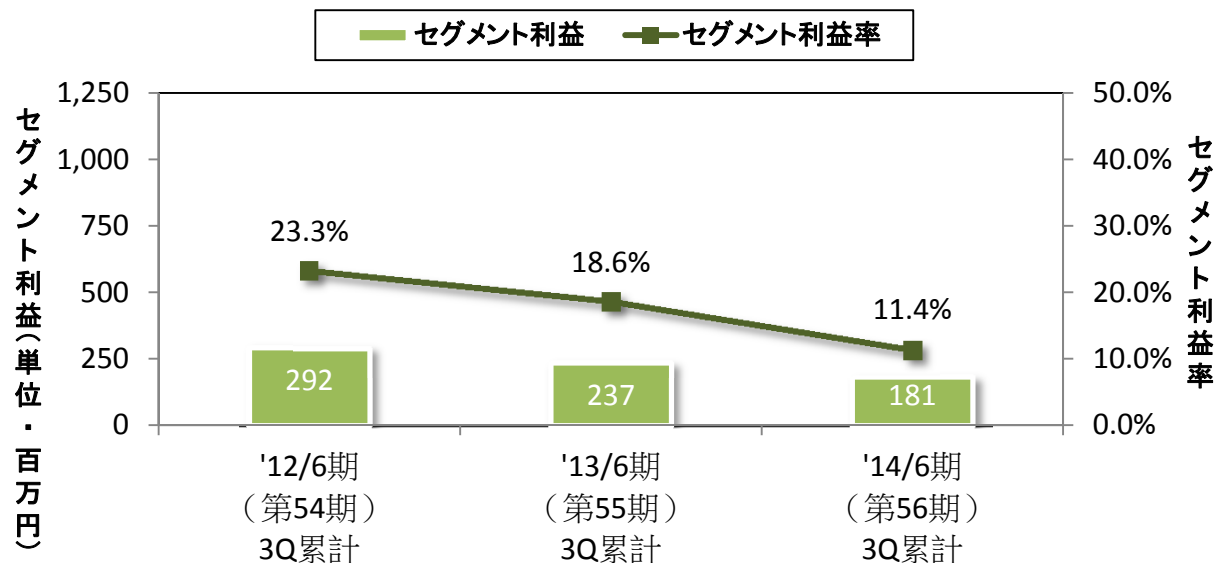
(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 3Q累計	'13/6期 (第55期) 3Q累計	'14/6期 (第56期) 3Q累計	対前年 同期 増減率
受注高	1,469	1,518	1,432	△5.7%
売上高	1,255	1,277	1,593	24.7%
セグメント利益 (利益率)	292 (23.3%)	237 (18.6%)	181 (11.4%)	△23.4%
受注残高	506	753	702	△6.7%

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育トレーニング

業績分析

- 設計者向けCAEソフト、建築構造解析ソフト、統合型粒子法流体解析ソフト、統計解析ソフトなどの販売が堅調に推移
- 営業工数の増加などの要因により、セグメント利益は減少



3

2014年6月期見通し



2014年6月期の見通し

- ・経済環境 ⇒ 回復の兆しが見られるも、依然として楽観視できない状況
- ・当社の対面業界 ⇒ 増税による需要の反動など、先行き不透明な状況は否めない



品質管理の徹底による強固な収益構造の構築

- 全事業における最終成果品の品質確保
- 受注段階での見積精度の向上および選別受注



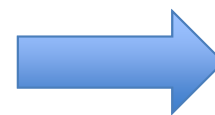
独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大

- エンジニアリングの原点への回帰
- 付加価値の高いビジネスへのシフト



経営資源の拡充

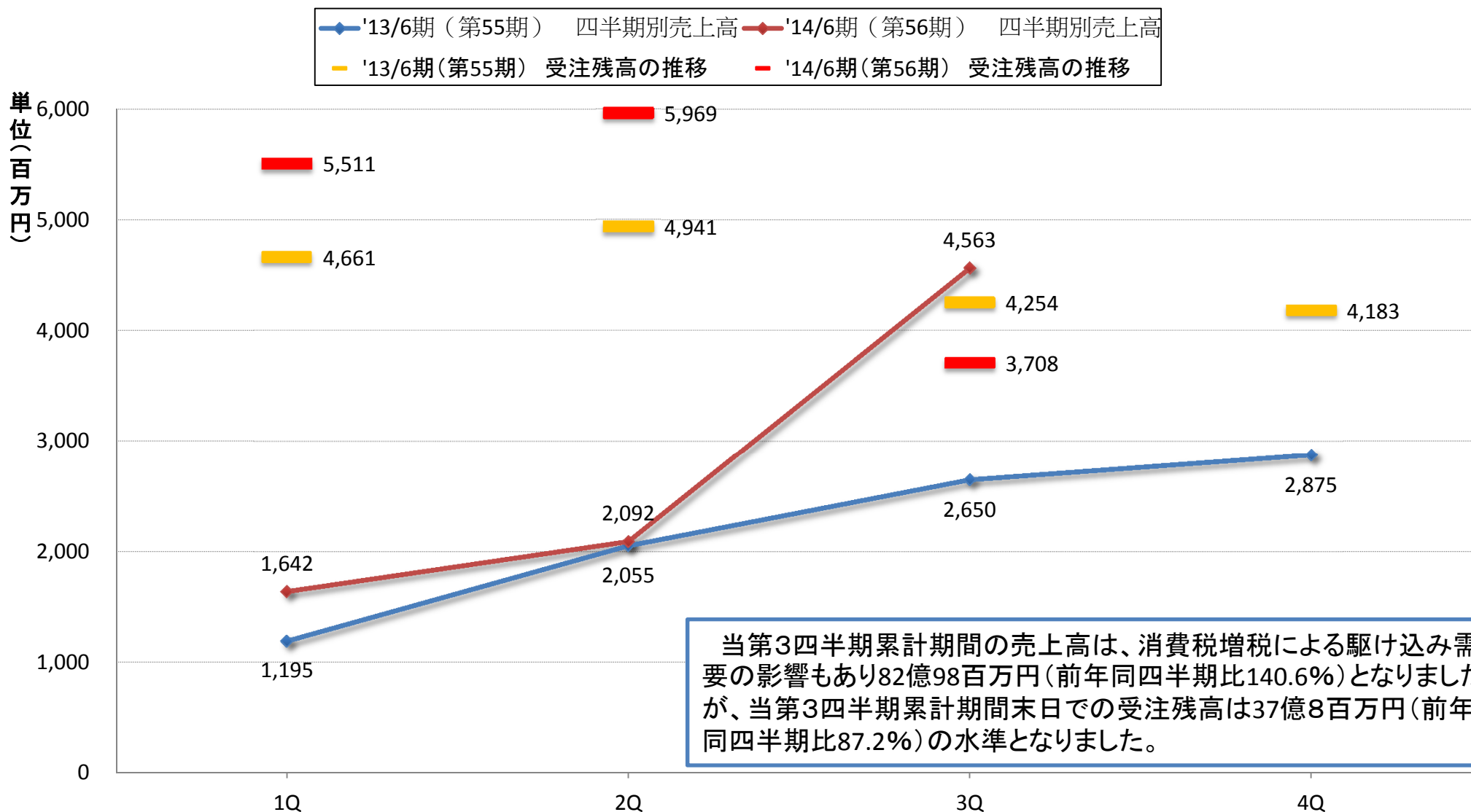
- 海外を含めた多種多様な企業との対等なアライアンスの推進
- プロフェッショナルの採用と育成



高い顧客満足度
&
付加価値の向上

売上高と受注残高の状況

四半期別売上高と受注残高の推移



前期業績と当期業績予想

(単位:百万円)

	'13/6期	'14/6期予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	8,776	10,500	1,723	19.6%
営業利益	549	900	350	63.8%
経常利益	485	840	354	73.0%
当期純利益	278	330	51	18.4%
配当金	@20円/株	@20~30円/株		

第4四半期会計期間の売上高につきましては、前年同四半期会計期間の売上高を下回るとの予測のもと、通期での売上高は105億円を見込んでおります。

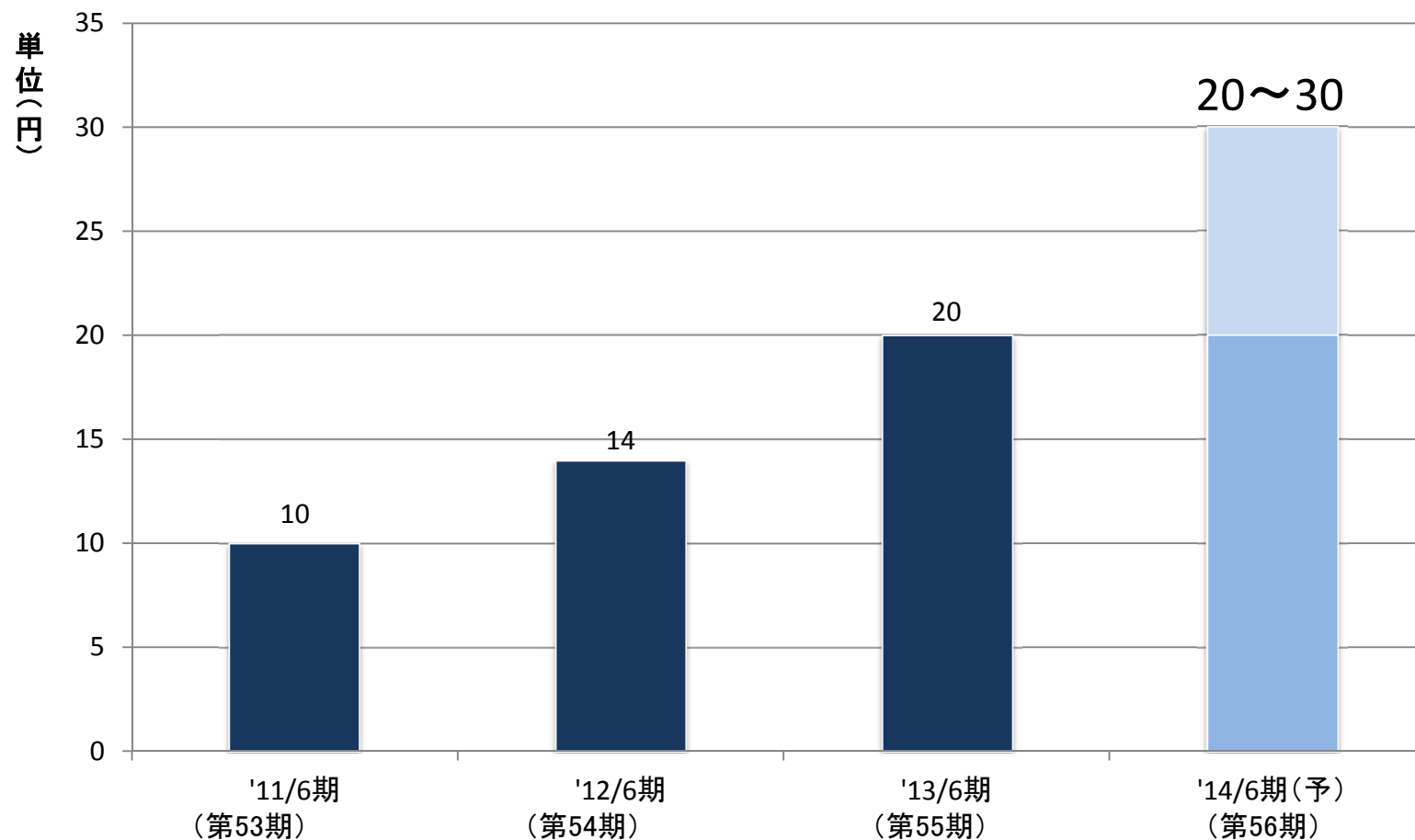
利益面につきましては、これまでの実績値及び第4四半期会計期間の売上原価、販売費及び一般管理費等の水準を勘案し、営業利益9億円、経常利益8億40百万円、当期純利益3億30百万円を見込んでおります。

利益配分に関する基本方針

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識
- 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針とする。
- 毎期の配当については、上記基本方針のもと、配当可能額の水準を勘案し決定する。

一株当たり配当金予想 (2014年6月期)

一株当たり配当金予想



※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。

お問い合わせ先

【業績予想に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

株式会社 構造計画研究所
法務部(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1141

F A X : 03-5342-1241

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>